



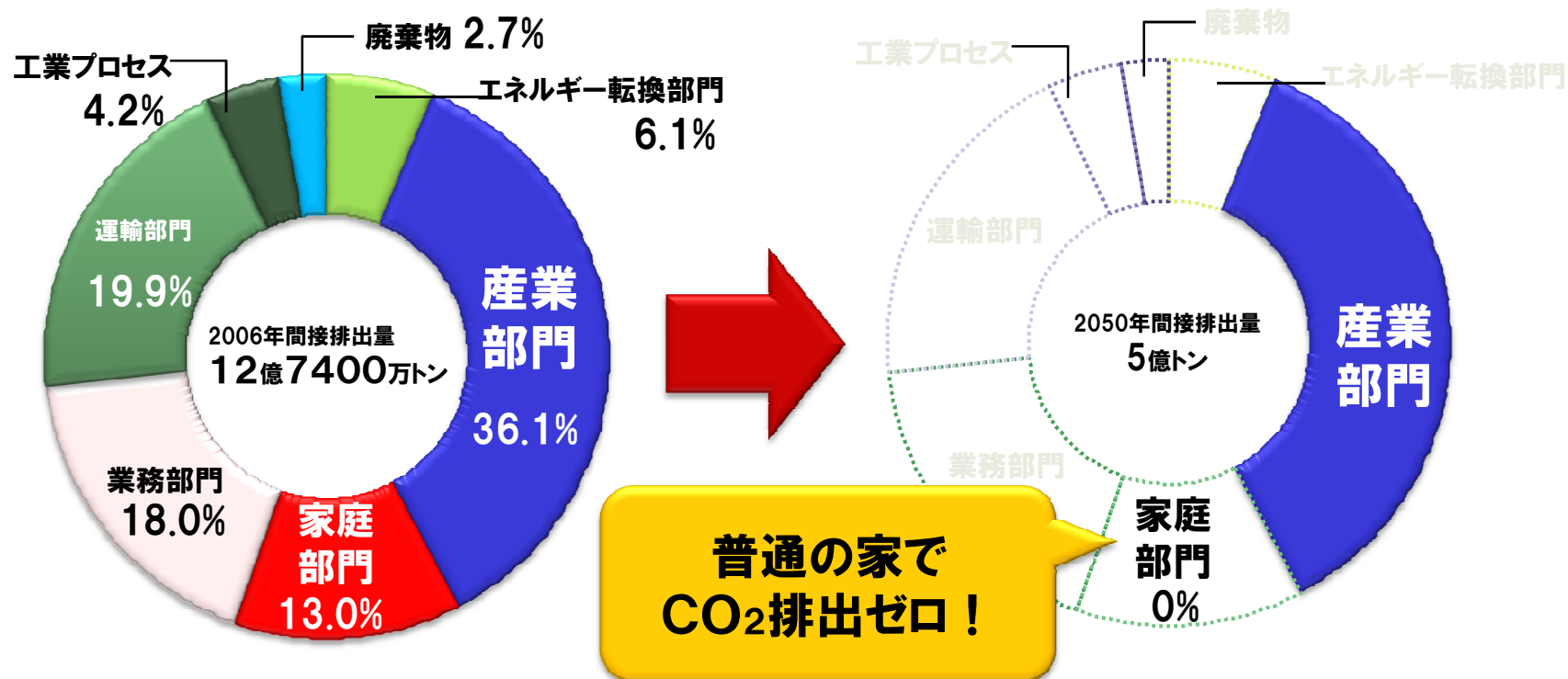
200万戸への  
感謝を結ぶ50年

# 積水ハウスの低炭素化に向けた取組

積水ハウス株式会社 温暖化防止研究所  
石田建一



- 「低炭素社会づくり行動計画」では、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを2050年までに現状に比べて60～80%削減としています
- 日本が工業国として発展し続けるためには、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量は限りなく“ゼロ”が望まれる



## 次世代を超える断熱



● 冷暖房負荷削減

## 燃料電池



● コジェネによるCO<sub>2</sub>大幅削減

## 一見わからない瓦型太陽電池 発電によるCO<sub>2</sub>大幅削減



● 日当たり風通しの良い設計

● 樹木を利用した涼房

ふつうの家で快適に暮らしてCO<sub>2</sub>±ゼロ！

## 省エネ設備機器



LED照明



高効率エアコン

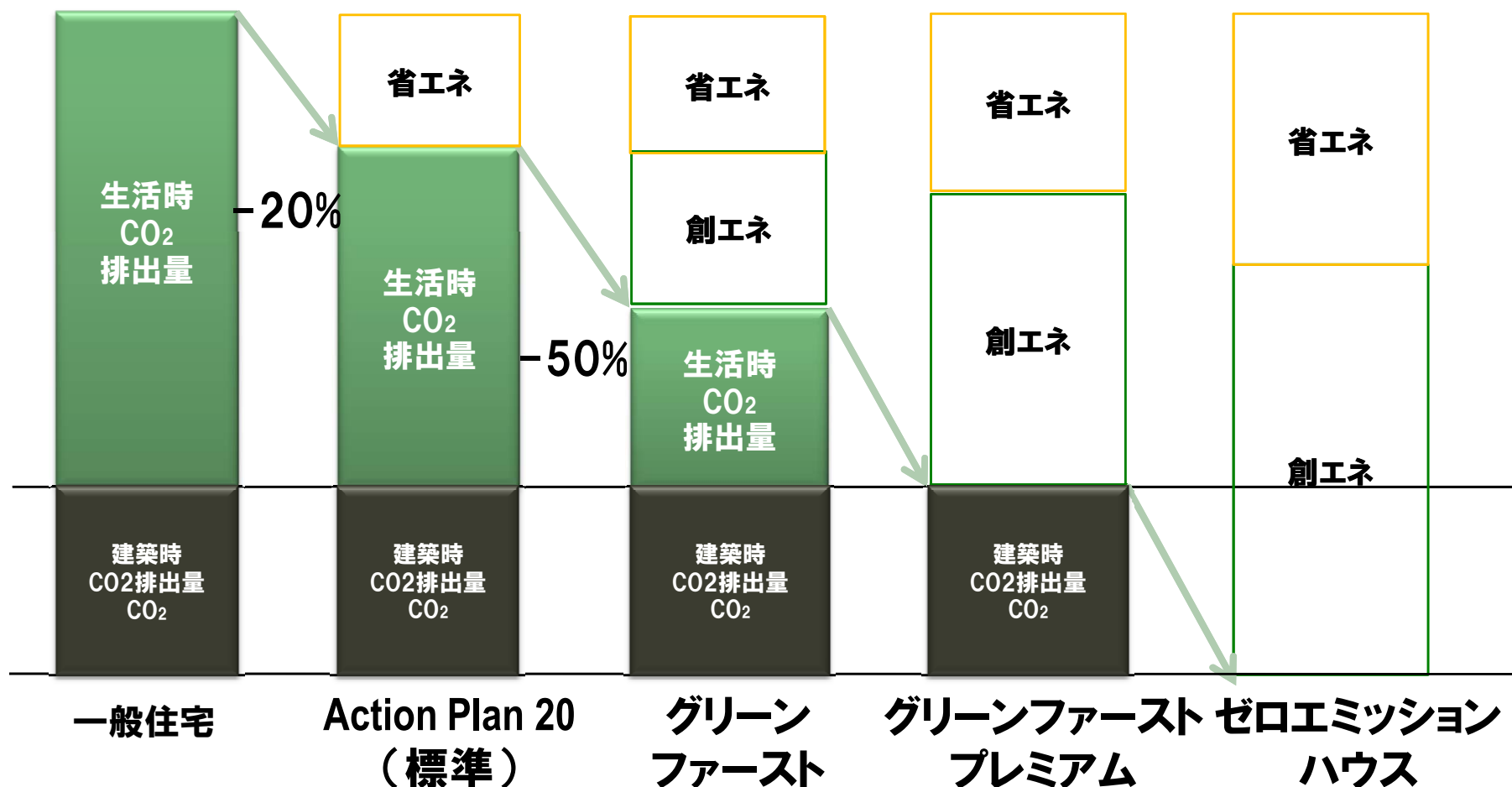


省エネ節水便座

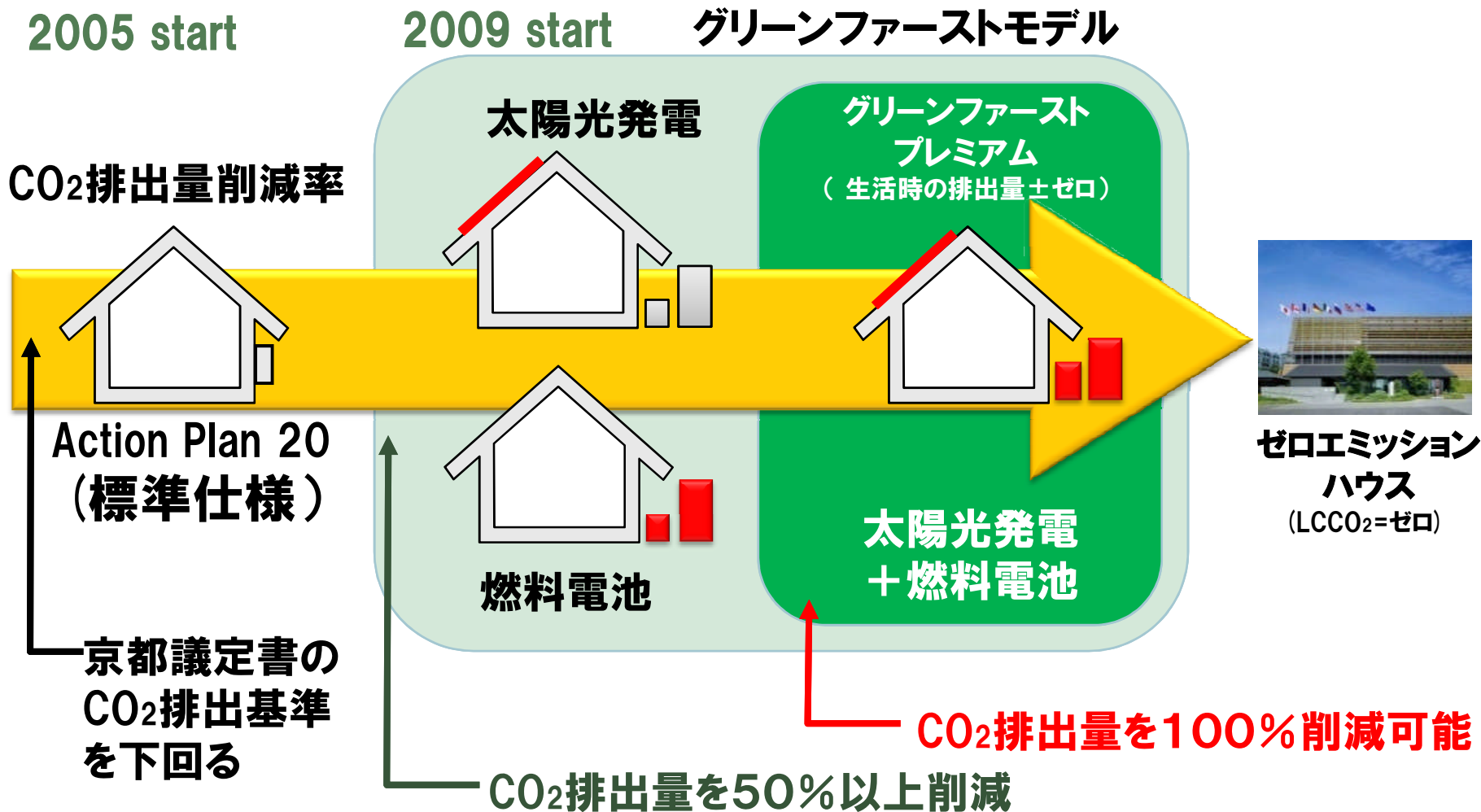
● 電力負荷削減

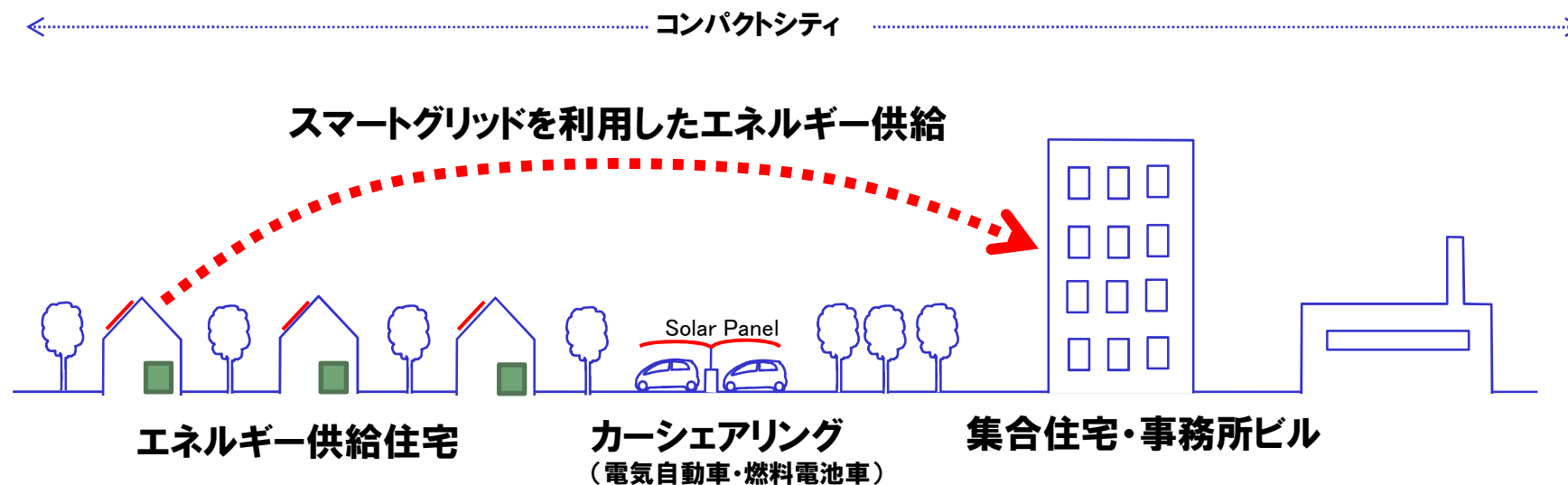
普通の家で快適に生活しながら、光熱費も安くCO<sub>2</sub>をゼロにする

- 現在の技術でゼロエミッションハウスは可能
- 今建築される住宅は、2050年にまだ残っている。2050年に向けて今から始めてもまだ遅い



● 2010年のグリーンファーストの目標は太陽光発電10,000棟、燃料電池2,400棟、グリーンファースト率70%





日本の特徴は、住宅の屋根に設置された太陽光発電や家庭用燃料電池など個別分散型発電システムの普及。これを活用するのが日本独自のスマートグリッド。

エネルギーを使う住宅から、エネルギーを供給する住宅に進化させます。街に住宅が増えると環境が良くなる、それが積水ハウスの目指す低炭素社会の住宅の将来像です。